北海道ＳＤＧｓ推進ビジョンの推進状況について

北海道

令和７年（2025年）３月

北海道SDGs推進ビジョンの推進状況

北海道のめざす姿と優先課題・対応方向

めざす姿	優先課題	対応方向
世界の中で輝きつづける北海道	① 北海道の価値と強みを活かした持続可能な経済成長	◆ 持続可能な農林水産業の推進　◆ 地域産業の創造やイノベーションの創出 ◆ 中小・小規模企業の振興 ◆ 海外成長力の取り込みや多彩な地域資源の活用による持続的な経済の発展
	② あらゆる人々が将来の安全・安心を実感できる社会の形成	◆ 医療・保健・福祉の充実　◆ 災害に強い地域づくりとバックアップ機能の発揮 ◆ 平和な社会づくりの推進　◆ 安心して働ける環境づくりの推進 ◆ 人々が互いに尊重し合う社会づくりの推進
	③ 未来を担う人づくり	◆ 子ども・青少年の確かな成長を支える環境づくりの推進 ◆ 地域や産業を担う人材の育成 ◆ 男女平等参画・女性が活躍できる社会づくりの推進
	④ 持続可能で個性あふれる地域づくり	◆ 様々な連携で支え合う地域づくりの推進 ◆ 北海道独自の歴史・文化の継承やスポーツの振興 ◆ 国際協力や多文化共生の推進　◆ 社会・経済を支える持続可能なインフラ整備の推進
	⑤ 環境・エネルギー先進地「北海道」の実現	◆ 豊かな自然と生物多様性の保全の推進 ◆ 地球環境保全の推進　◆ 持続可能な生産と消費の推進

北海道SDGs推進ビジョンの推進管理

道

北海道SDGs推進本部

北海道SDGs未来都市計画

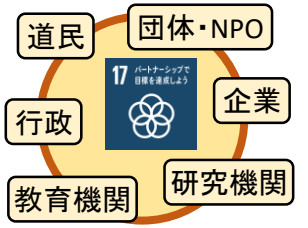
ビジョンと一体的に推進

北海道SDGs推進ビジョン

互いに共有する基本的な指針

多様な主体

北海道SDGs推進ネットワーク



毎年度、ビジョンに掲げる各項目の進捗管理はもとより、**多様な主体による取組状況**を一体的に整理

ホームページ等で推進状況を広く公表するなど、各主体間で共有し、それぞれの取組へ反映

① 北海道の価値と強みを活かした持続可能な経済成長

関連する道内の取組例 ※記載しているゴールは、取組に関連する主なゴール

多様な主体の取組例

勇建設株式会社

2 飢餓をゼロに　8 働きがいも経済成長も

会社内で保管している防災用の備蓄食料品のうち、余剰分や、今後、賞味期限が近づくものを、フードバンクを通じて定期的に寄贈する活動により、フードロス問題に貢献

日高信用金庫

8 働きがいも経済成長も　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

食の振興に関する取組として、まちづくりに関する包括連携協定を締結している浦河町と様似町の農業産品である夏いちごを用いた商品や、「新商品開発サポート事業」で開発された商品などを販売する「ひだかしんきん夏いちごフェア」を開催

株式会社ローソン

12 つくる責任つかう責任

令和6年度の道東道（本別～釧路）の全線開通に向けた、地域の魅力発信を強化する取組として、釧路地域の有名店監修商品を発売し、商品告知において「道東道の開通PR」に協力

道の取組例及び参考となる指標

持続可能な農林水産業の推進

2 飢餓をゼロに　8 働きがいも経済成長も　14 海の豊かさを守ろう　15 陸の豊かさを守ろう

スマート農業技術の着実な普及拡大に向けた、技術情報の発信やICT農作業機実践研修等を通じた人材育成のほか、市町村段階での取組体制の構築促進や導入への支援を実施

<u>〇参考となる指標</u>
農業産出額（暦年）
→目標値：13,600億円（2030年）
　実績値：12,919億円（2022年）

地域産業の創造やイノベーションの創出

8 働きがいも経済成長も　9 産業と技術革新の基盤をつくろう

自動車・食関連機械分野への参入促進や販路拡大に向け、展示会や専門家派遣等を実施するとともに、食品メーカー等と食関連機械メーカーのマッチングを道内各地で開催

<u>〇参考となる指標</u>
製造業の付加価値生産性
→目標値：1,301万円（2031年）
　実績値：1,028万円（2022年）

中小・小規模企業の振興

8 働きがいも経済成長も

起業者への指導助言や起業に要する費用への支援のほか、中小企業者の事業承継に伴う納税猶予等に係る認定など事業承継の円滑化に向けた取組を実施

<u>〇参考となる指標</u>
開業率
→目標値：5.9%（2032年度）
　実績値：3.4%（2022年度）

海外成長力の取り込みや多彩な地域資源の活用による持続可能な経済の発展

8 働きがいも経済成長も　12 つくる責任つかう責任

マスコミや旅行会社を対象とした観光情報交換会を開催したほか、地域の特性を活かした国内外プロモーション事業等の展開など、国内外観光客の誘客推進を図る取組を実施

<u>〇参考となる指標</u>
道外からの観光入込客数（うち外国人）
→目標値：＜道外客＞944万人以上（2032年度）
　　＜うち外国人＞244万人以上（2032年度）
　実績値：＜道外客＞739万人（2023年度）
　　＜うち外国人＞234万人（2023年度）

② あらゆる人々が将来の安全・安心を実感できる社会の形成

関連する道内の取組例 ※記載しているゴールは、取組に関連する主なゴール

多様な主体の取組例

遠軽信用金庫

国が主導している「こどもの未来応援国民運動」の一環である「こどものみらい古本募金」プログラムに参画し、読み終えた書籍等の寄附を通した、貧困にあるこどもへの支援活動を実施

株式会社菅原組

外部講師による健康セミナーを開催し、健康意識の向上に努めているほか、会社敷地内の完全禁煙の継続化に向けた禁煙外来受診費用を会社負担することで、喫煙率の減少による働きやすい職場環境を構築

北海道ｺｶ･ｺｰﾗﾎﾞﾄﾘﾝｸﾞ株式会社×北海道

北海道との「災害時における飲料の供給等防災に関する協力協定」に基づく道内179市町村との取組で、災害発生時には各自治体の判断で「災害対応型自動販売機」内の在庫飲料を無償提供できるなど、道民の安全･安心の向上に寄与

道の取組例及び参考となる指標

医療・保健・福祉の充実

ドクターヘリやメディカルウィングにおける搬送体制や休日夜間救急患者の診療体制を確保するとともに、救命救急センターの運営を支援

〇参考となる指標
全道の医療施設に従事する医師数（人口10万人当たり）
→目標値：全国平均値
※ 2022年の全国平均値262.1人
実績値：254.0人（2022年）

平和な社会づくりの推進

飲酒運転根絶を実現するため、関係機関・団体と連携して決起大会を開催したほか、飲酒が身体に及ぼす影響等を啓発するための児童・生徒向けパンフレットを作成し、配布

〇参考となる指標
交通事故死者数
→目標値：134人以下（2025年）
実績値：131人　（2023年）

人々が互いに尊重し合う社会づくりの推進

人権施策基本方針に掲げる12分野に関連した人権配慮の取組を行っている道内企業等の登録・紹介や、性の多様性をテーマとしたセミナーなどを実施

〇参考となる指標
人権侵犯事件数（人口10万人当たり）
→目標値：6.9件（2032年）
実績値：6.9件（2024年）

災害に強い地域づくりとバックアップ機能の発揮

北海道地域防災マスター認定研修を通じて、地域の防災リーダー育成を図るとともに、自主防災組織カバー率の低い市町村への働きかけを行うなど、自主防災組織の結成促進に向けた取組を実施

〇参考となる指標
自主防災組織活動カバー率
→目標値：87.7%（2033年度）
実績値：76.9%（2024年度）

安心して働ける環境づくりの推進

道内企業における「働き方改革」の普及促進を図るため、各（総合）振興局において民間企業等に対しセミナーを開催

〇参考となる指標
就業率
→目標値：各年において前年よりも上昇
※2023年の実績値57.6%
実績値：58.2%（2024年）

③　未来を担う人づくり

関連する道内の取組例　※記載しているゴールは、取組に関連する主なゴール

多様な主体の取組例

ワークショップデザイン describe with

多様性や対話の価値を実感しながら、SDGsに関わる社会課題への具体的なアクションを創り出す取組として、これからの民主主義を体験するボードゲーム「Demopolly（デモポリー）」を高校生から大学生を中心に実施

青空合同会社

地域と協働したICT技術の取得を目的とした取組として、鷹栖町民を中心とした新技術ドローンの体験企画のほか、ドローン国家資格の技能試験に向けた高度な操作会を実施

新太平洋建設株式会社

女性技術者を増やすための取組としてパンフレットやホームページ上で女性の活躍状況の紹介を行っているほか、女性職員による現場安全パトロールを実施する、女性目線による5S（整理・整頓・清潔・清掃・しつけ）活動を推進

道の取組例及び参考となる指標

子ども・青少年の確かな成長を支える環境づくりの推進

中学校授業実践スペシャリスト及び学識経験者を講師とする授業実践・改善セミナーを実施するとともに、小学校体育専科教員及び中学校推進教員等の授業実践動画を作成し、その成果を普及

〇参考となる指標
児童生徒の体力・運動能力の状況
→目標値：全国平均値以上
　　※50以上
　実績値：＜小学校＞男子49.8　女子49.4　（2024年度）
　　＜中学校＞男子48.5　女子47.1　（2024年度）

地域や産業を担う人材の育成・確保

産業人材の育成・確保に向け、職業訓練を実施するほか、道内各地域の民間における人材育成の取組への支援などを実施

〇参考となる指標
就業率（再掲）
→目標値：各年において前年よりも上昇
　　※2023年の実績値57.6%
　実績値：58.2%（2024年）

男女平等参画・女性が活躍できる社会づくりの推進

男女平等参画を推進する「北海道立女性プラザ」の設置・運営を通した学習機会の提供のほか、女性活躍推進のためのセミナー・イベント等を開催するなど、「第3次北海道男女平等参画基本計画」に基づく女性の活躍推進に向けた取組を実施

〇参考となる指標
女性（25～34歳）の就業率
→目標値：82.5%（2028年）
　実績値：79.9%（2024年）

④　持続可能で個性あふれる地域づくり

関連する道内の取組例　※記載しているゴールは、取組に関連する主なゴール

多様な主体の取組例

上士幌町

町内の美化活動など、SDGs・ゼロカーボンの達成に資する行動に応じて地域通貨を付与する「SDGsポイント」のほか、SDGs・ゼロカーボンに関係する活動を積極的に行っている個人等を認定する「SDGs・ゼロカーボンマスター」の制度運用を開始

HRMホールディングスグループ

耐用年数超過の下水道管の更生工事を受注し、施設の長寿命化に貢献するほか、新技術の活用によって、工事による一般交通への影響を抑え、高品質で効率的な施工を実施

独立行政法人国際協力機構北海道センター

差別や偏見なく暮らすことができる社会の実現に向けた取組として、 JICA基金を活用した、開発途上国・地域の人々を支援する活動提案を募集しており、これまで「SHAKE★HOKKAIDO」などの多文化共生推進を目的とした案件を3件採択

道の取組例及び参考となる指標

様々な連携で支え合う地域づくりの推進

先進的な取組事例の発信、集落支援員をはじめとする地域を担う人材の確保・育成のほか、買い物や通院、見守りなどを支援する仕組みづくりや、集落の活性化に携わる人々のつながりを深める取組を実施

〇参考となる指標
集落対策を実施している市町村
→目標値：集落がある全市町村（176市町村）（2024年度）
　実績値：157市町村（2023年度）

北海道独自の歴史・文化の継承やスポーツの振興

道内にある貴重な文化財の価値を理解し、後世に守り伝えていくため、調査や保存・伝承だけではなく、文化財に親しむ環境づくりの促進や、多様な情報発信を実施

〇参考となる指標
国及び北海道が指定する文化財の数
→目標値：341件（2022年度）
　実績値：348件（2024年度）

国際協力や多文化共生の推進

在住外国人からの生活や就労等に関する様々な暮らしの相談に多言語で対応する「北海道外国人相談センター」を運営し、多くの利用者からの相談にきめ細かく対応

〇参考となる指標
外国人居住者数
→目標値：87,000人（2032年）
　実績値：56,485人（2023年）

社会・経済を支える持続可能なインフラ整備の推進

北海道インフラ長寿命化計画（行動計画）に基づき、すべての道有施設を対象とした維持管理・更新等の実施状況を把握・点検し、庁内外へ共有

〇参考となる指標
個別施設ごとの長寿命化計画策定率（交通、上下水道等、公園等、治水、農林水産施設、建物等）
→目標値：100%を維持（2025年度）
　実績値：100%　（2022年度）

⑤　環境・エネルギー先進地「北海道」の実現

関連する道内の取組例　※記載しているゴールは、取組に関連する主なゴール

多様な主体の取組例

株式会社谷組

下川小学校を対象に、水の大切さを教えることを目的とした「現場体験学習・ほんわか教室（サンルダムの役割と目的）」を開催したほか、現場体験を通したクイズ形式での授業や川の大切さなどをテーマとしたグループ討議を実施

株式会社福地建装

北斗市内の企業等のSDGsの取組を応援する「北斗市SDGs宣言推進事業」の一環として、中学生を対象とした「職場体験学習」などの取組を実施する「ファースの家」SDGsプロジェクトを展開し、SDGsの普及推進に寄与

株式会社コンサドーレ×株式会社札幌ドーム

「大和ハウス　プレミストドーム」における北海道コンサドーレ札幌のホームゲーム開催日の午前中に「野鳥観察会」を開催したほか、多くの野鳥が生息するドームの敷地内の散策やネイチャーポジティブへの取組紹介を実施

道の取組例及び参考となる指標

豊かな自然と生物多様性の保全の推進

大気・水環境など地域の環境を良好な状態に維持するとともに、環境悪化の未然防止を図るため、常時監視や事業場への立入検査、監視・指導を実施

〇参考となる指標
環境基準達成率
→目標値：＜大気汚染＞ 100%（2030年度）
　　＜水質汚濁＞ 100%（2030年度）
　実績値：＜大気汚染＞ 100%（2022年度）
　　＜水質汚濁＞90.5%（2023年度）

地球環境保全の推進

「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、できることからゼロカーボンの取組を一緒に実践していく「ゼロカーボン北海道チャレンジ！」を呼びかけるとともに、家庭からの排出量を見える化するスマートフォンアプリ「北海道ゼロチャレ！家計簿」を運用・普及するなど、地球温暖化防止対策の推進に向けた取組を実施

〇参考となる指標
温室効果ガス排出量
→目標値：3,788万t-CO_2（2030年度）
　実績値：4,881万t-CO_2（2021年度）

持続可能な生産と消費の推進

3R（リユース・リデュース・リサイクル）の醸成を図るため、ハンドブックを作成・公開するとともに、3R推進月間である10月を中心に、3R推進キャンペーンとして啓発イベントを実施

〇参考となる指標
循環利用率
→目標値：17.0%以上（2024年度）
　実績値：15.7%　　（2017年度）